

辰巳芳子

海、山、畑の恵みを渾然一体化し、
最も吸収しやすい状態にした食べ物、おつゆ。
この言葉の表現には、天の露のイメージがありありと見える。
露を受け、生き返る地上のものたちと、人々が露をいただき、
息づいた瞬間を重ね、思わず…おつゆ。
日本人ならではの愛の発露ではないか。

天のしずく

辰巳芳子 “いのちのスープ”



河邑厚德 監督・脚本

朗読：草笛光子 ナレーション：谷原章介 音楽：吉田潔

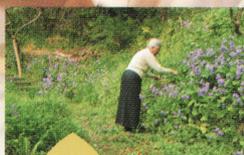
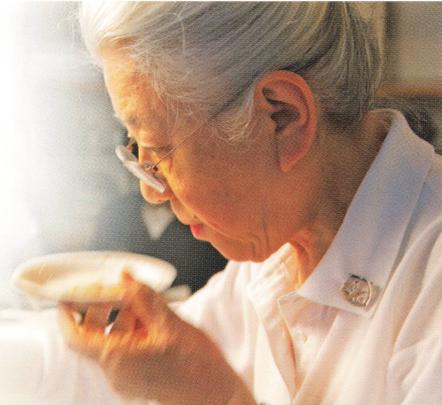
撮影：本田茂 照明：高坂俊秀 技術：野澤勝一 助監督：岩井俊介・伊賀俊徳 編集：菊尾明子 音楽監督・音響効果：尾上政幸 プロデューサー：矢内真由美・鈴木正義 総合プロデューサー：小泉修吉
企画・製作：天のしずく製作委員会（株式会社環境テレビトラスト、株式会社NHKエデュケーショナル、クインテッセンス出版株式会社） 配給：ルミエール・プラス
助成：愛文化芸術振興費補助金 2012年/カラー/16:9/デジタル/113分 ©2012年 天のしずく製作委員会

愛することは
生きること



「辰巳芳子の言葉」より

昨今のうたい文句「簡単即席」に人間が生命を全うしうる真実があるでしょうか。食ということは、あまりにも当たり前なことです、つい日常茶飯の扱いになります。でも、本当を申しますと日常茶飯ほど、これなくしてはやれない、生きていかれないことが多いのです。料理は、本当に食の一端でございますが、ですけれどもその小さな一端にありながら、生きていく全体に対して一つの影響を及ぼしてまいります。食べごちを作っていくということは、最も基本的な自由の行使。そして料理を作る事は、自然を掌中で扱うことなのです。それは人間にのみ許された厳粛な行為だと思えます。



スープが奏でるいのちの響き

天のしずくの物語



大正デモクラシーの輝きが消え戦争に向かう時代、辰巳芳子は生まれて100歳をむかえ、この一世紀を凝縮する人生を送ってきた。短い新婚時代を過ごした夫は戦死した。芳子のテーマはいのちである。病床の父のために工夫を凝らして作り続けたスープは、やがて人々を癒す「いのちのスープ」と呼ばれ人々の生きるよすがとなった。いのちは母乳に始まり、最後に唇をしめらす末期の水がある。いのちは絶えることなくサラサラと流れる川のような。

映画は辰巳芳子のスープの物語を静かに語る。森、海、田畑など日本の風土が生み出す生産の現場から、ていねいに素材が喜ぶように作り出された天のしずく。口にした人々のホッと息づく表情。スープは天地と人を結ぶ絆。脳梗塞で倒れ、嚥下障害により食べる楽しみを奪われた父。その最後を、母と娘が工夫した折々の季節のスープが支えて「いのちのスープ」となった。

映画では、志を持って土を耕す全国の生産者や日本の四季にもカメラを向けた。自然風土の恵みに語りかけ調理する辰巳芳子。そのスープを口にする人々。

映画『天のしずく』は天から地、人へのいのちの響きを奏でていく。料理番組や本があふれる現代こそ、食の本質をまっすぐ語る芳子の言葉が美しい。この映画で描かれる物語は、辰巳芳子が唱える、食を通して見える「いのちと愛」の道筋である。

監督 河邑厚徳

●辰巳芳子プロフィール 1924年生まれ。料理家・作家。料理研究家の草分けだった母、浜子の傍らで家庭料理を学ぶ。自然風土の恵みである食材への深い愛情を込め、本物の食を追求し続けている。日本料理だけではなく、独自にヨーロッパ料理の研鑽も積み、人の生きる力を支える食への根源的な提言を続けている。父の最期を看取ったスープは、全国で多くの人に飲まれ「いのちのスープ」として静かな感動の輪を広げている。現在は「良い食材を伝える会」「カイロス会」「確かな味を造る会」などの会長を務め、全国の小学生に大豆の種を蒔き育てる「大豆100粒」運動を提唱し参加校は300を超えている。著書に「あなたのために～いのちを支えるスープ～」[味覚日乗]「食の位置づけ」「いのちの食卓」「ご飯と汁物」「お春春秋」「辰巳芳子という生き方」等多数。

●河邑厚徳プロフィール 1948年生まれ。団塊の世代。NHKのディレクターから映画監督。NHKでは「シルクロード」「チベット死者の書」「エンデの遺言」などの特集を制作。定年後はドキュメンタリー映画監督として、本作「天のしずく 辰巳芳子 いのちのスープ」をはじめ、「大津波 3.11 未来への記録」「笑う101歳×2 笹本恒子 ものたけじ」「天地悠々 兜太・俳句の一本道」「鉛筆と銃 長倉洋海の眸」「丸木位里・丸木俊 沖繩戦の図 全14部」など数々の人間記録映画を手がける。「沖繩戦の図」では2023年度平和・協同ジャーナリスト基金大賞受賞。現在は「目撃者 報道写真家 石川文洋」「信濃毎日企画 憲法事件を歩く」などを制作中。



監督・脚本：河邑厚徳 朗読：草笛光子 ナレーション：谷原章介 音楽：吉田潔 題字デザイン：粟辻美早 タイトルデザイン：喜田夏記

撮影：本田茂 照明：高坂俊秀 技術：野澤勝一 助監督：岩井優介・伊賀俊徳 編集：荊尾明子 音楽監督・音響効果：尾上政幸

音楽録音：田村誠 演奏(ストリングス)：金子飛鳥・相磯優子・志賀恵子・徳澤青弦 演奏(尺八)：三塚幸彦 編集スタジオ：東京テレビセンター、ブロードメディア・スタジオ

制作：喜国伸一・伊藤優子 プロデューサー：矢内真由美・鈴木正義 総合プロデューサー：小泉修吉 製作協力：株式会社NHKエデュケーション、株式会社グループ現代

企画・製作：天のしずく製作委員会(株式会社環境テレビトラスト、株式会社NHKエデュケーション、クインテッセンス出版株式会社) 配給：ルミネール・プラス 助成：文化芸術振興費補助金

2012年 / カラー / 16:9 / デジタル / 113分 ©2012年 天のしずく製作委員会

公式Facebook: [facebook.com/tennoshizuku/](https://www.facebook.com/tennoshizuku/)

天のしずく

辰巳芳子 “いのちのスープ”

2025年2月7日[金]より公開!

※当日料金(税込)：一般2,000円/シニア(60歳以上)1,300円/コース(19歳以上22歳以下)1,100円/アンダー18(16歳以上18歳以下)1,000円/ジュニア(15歳以下)800円

※トークイベント情報に関しては、劇場HPをご確認ください。

吉祥寺バルコ 地下2階

UPLINK 吉祥寺

0422-66-5042 joji.uplink.co.jp